◆2023年2月の新刊　**日本キリスト教団出版局**

遠藤周作生誕100年記念！　遠藤研究の第一人者による新シリーズ刊行開始

遠藤周作探究 全3巻 第1回配本

II 遠藤周作『深い河』を読む
マザー・テレサ、宮沢賢治と響きあう世界

山根道公（やまねみちひろ） 著

1960年、岡山県に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業、立教大学大学院修了。文学博士。ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所教授。遠藤周作学会代表。『遠藤周作文学全集』全15巻解題及び年譜、『井上洋治著作選集』全11巻の編者及び解題を担当。著書『遠藤周作と井上洋治──日本に根づくキリスト教を求めた同志』ほか。1986年より井上洋治神父とともに「風の家」運動を行い、現在もその機関誌「風（プネウマ）」を発行する風編集室（https://www.kazehensyuusitu.jp）代表。

遠藤周作の最後の書下し長編小説にして、21世紀を生きる私たちへの遺言とも言える『深い河』。この作品と宮沢賢治やマザー・テレサの宗教性との共鳴、他の作品や膨大な資料をたどりつつ、『深い河』に遠藤がこめたメッセージを解き明かす。遠藤周作生誕100年を記念して改訂復刊。若松英輔による初版本への解説も付す。

2023年 2月24日 刊行予定

A5判・上製・304頁・定価3,520円（本体3,200円＋税）
ISBN978-4-8184-1127-2　C0095

【シリーズ続刊】『Ⅰ 遠藤周作　その人生と『沈黙』の真実』2023年6月予定　『Ⅲ 遠藤周作の文学とキリスト教』（仮題）2024年2月予定